

友達関係をよりよくしていくための技術・コツ
を学ぶ授業（ライフスキル教育）に取り組んでい

ライフスキルとは、「ライフ（自分の生活や人生）をよりよくしていくためのスキル（技術・コツ）」のことです。このスキルにはさまざまなものがありますが、城山北中学校区（城山北中・梅林小・八木小）では、好ましい人づきあい（友達関係などの人間関係）を築いていくための技術やコツを学ぶことを授業の中で取り組んでいます。

このよりよい人間関係を築いていくためのスキルにはどんなものがあるでしょう。例えば「あいさつ」（城山北中だより12号で紹介）「上手な聴き方」「質問する」「温かい言葉かけ」「あやまり方」「上手な断り方」「感謝の気持ちの表し方」「上手な自己主張の仕方」「対話上手になる」「感情を伝える」等々、そのほとんどは「伝え方」「聴き方」といったコミュニケーションのやり方です。これらのコミュニケーションに関するスキルは、いずれも、よりよい人間関係（友達関係、先生との関係、家族関係・・・）をつくったり維持したりするためにとても大切なものです。これらのコミュニケーションのスキルがしっかりと自分に身につけば、人とのトラブルも少なくなり、人間関係が心地よいものになります。さて、これらのスキルが、どれだけ自分に身についているのでしょうか。スキルは、「技術」なので、繰り返し、繰り返し練習すれば誰でも身につきます。スポーツや楽器を練習することと同じです。誰もが、人づきあいを良くしてよりよい人間関係の中で幸せに生活したいと願っているはずです。その「願い」を実現するためには、学ぶこと（練習すること）が大切です。その学び（学習）が、ライフスキル教育です。

【9月15日（木）小・中連携教育研究会で、
ライフスキル教育の授業公開をしました】

右の写真は、9月15日（木）に開かれた学区小・中連携教育研究会で、1年3組において、「聴き方名人になろう～上手な「聴き方」を学ぼう～」をテーマに、ライフスキル教育の授業公開の場面です。梅林小・八木小・八木幼稚園の先生方、保護者の方々に授業を見ていただきました。



3人グループで、「話し手役」「聴き手役」「観察者役」に分かれて、上手な聴き方の4つのマナー（「体を向ける」「話す人を見る（視線を送る）」、「相づちを打つ」、「表情をつける（笑顔など）」を練習しているところです。とても楽しいほのぼのとした雰囲気の中で、1年3組はみんな一生懸命に取り組みました。

聴

「耳」・・・耳を傾けて
「十」・・・体を向けて
「四」・・・目（まなざし）を向けて
「心」・・・心で受け止めて・・・
つまり、身体全体で、心を込めて相手の身になって「聴く」ということ。

保護者の皆様、ぜひ、ご家庭でも、こうした「聴き方」について、家族で取り組んでみてください。何より練習量が大切です。

みなさんも、毎日、多くの人（友達、先生、家族）と「伝える」「聴く」というコミュニケーションをとっています。その日々の「コミュニケーション」の積み重ねが、その人との「人間関係」をつくり出します。ぜひ、この「聴く」ということを大切にして、周囲の人とコミュニケーションをとっていきましょう。きっと、そこに温かい心地よい信頼関係が生まれると思います。「聴く」ことを大切に・・・。